

眼科

眼科では、現在、外来診療を月曜日から金曜日まで行っています。小児からお年寄りまで、角膜潰瘍など前眼部疾患から網膜裂孔など後眼部疾患まで、眼に関する様々な疾患に対応しています。白内障、緑内障、糖尿病網膜症で通院される患者さんが多いですが、総合病院ということもあり、他科からの紹介も多くあります。例えば、小児の弱視斜視、外傷後の複視、頭蓋内疾患後の視野検査、真菌性眼内炎の有無、薬剤の眼に対する副作用のチェックなど、他科との連携を図って診療を行っています。島根大学をはじめとする近隣の病院、開業医の先生方ともお互いに協力、助け合いながら診療にあたっています。また、視能訓練士が中心となり、斜視訓練を行っています。オクルパッドRを導入し、弱視訓練も開始しました。今後はロービジョンケアにも力を入れていきたいと考えています。毎週金曜日にはカンファレンスを行い、主に小児の弱視斜視に関して話し合い、治療方針を決定しています。

